

第8回 (8/27号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

生育状況は、概ね平年並みで推移しています。韮山地区では出穂期にかかっています。長岡地区の小坂、天野、大仁地区の白山堂では開花期に入っており、大仁地区の神島では乳熟期に入っていました。山間地では、田原野地区が黄化籾の割合が8割程度となり、収穫適期を迎えている圃場も見られました。浮橋地区では、収穫適期を迎えており、収穫が始まっている圃場も見られました。

② 病虫害状況

今回は、雨天のため病虫害の発生調査は中止となりました。

今年度は出穂時期の早い山間部で、多くのカメムシの発生が確認されており、今後発生が懸念されます。カメムシは乳熟期中の籾を吸汁し、斑点米の被害の原因になり、品質に大きく影響します。自身の圃場を確認していただき、薬剤防除を行いましょう。

殺虫剤

○スタークル粒剤 3kg/10a 3,520円/1袋 (3kg)

時 期：出穂期～出穂10日頃

備 考：上記時期はカメムシの散布適期です。秋ウンカもこの頃に密度が増加してきます。カメムシ対策も兼ねてこの時期に散布を推奨します。

○トレボン粉剤DL 3～4kg/10a 1,350円/1袋 (3kg)

時 期：収穫7日前まで

備 考：ウンカ類、ヨコバイ類、イナゴ類、カメムシ類

秋ウンカに対して散布する場合は、株元にかかるように行う。

※商品の値段は全て税込表示です。



←今年度山間部で発生が多かった
ホソハリカメムシ

問い合わせ：韮山営農経済センター
勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。